



かがり火

◆ スキー訓練 がんばる! ◆

副団委員長 井上 治

今年も、昨年に引き続き戸狩温泉スキー場(長野県)でスキー訓練を実施しました。その様子を、日を追って報告いたします。

3月22日(金) くもり時々小雨 21:50 参加者35名(CS13名、BS6名、団委員・指導者14名、保護者3名、付き添い女児2名)が貸切バス1台で枚方を出発。

23日(土) くもり後時々晴 5:40 戸狩の駐車場に到着。明け方より降り出した小雨も止み、5分ほど歩き、宿舎の「アルペンプラザ」に着く。各部屋に荷物を持って入室。オリエンテーション・朝食の後ゲレンデに向かう。10:00 スキー学校始まる。3名の先生の下、3組に分かれ、午前2時間、昼食をはさんで午後2時間の訓練を実施。午後の訓練では、初級の組(初めてのスカウト対象)もリフトに乗り、山上よりの滑降スキーに挑戦。16:00 宿舎に帰り、入浴、夕べの礼拝、夕食。19:00 室内でミニ技能大会。観察・国旗・結索のゲームをスカウト4組に分かれて競争。21:00 消灯。

24日(日)快晴 10:00 午前2時間のスキー訓練。昼食後 13:30 午後2時間のバッジテストを含めてのスキー訓練。初級組が15分延長の指導のため、野外のゲームは中止。16:20 宿舎に帰り夕食。18:45 たいまつ滑降の見学。13名(大人8名、子ども5名)の選抜者が、トーチを右手で持ち、スキー板だけでゆっくりと等間隔で、5分ほどかけて山を下りてくるイベントです。今年も天候も良く、輝くトーチが、ゆっくりと山を降りてきて、雪の白さに映えて、とても感動的であった。

19:20 宿舎に帰り入浴。21:00 消灯。

25日(月) くもり後晴 8:30~10:30 12名の団委員・指導者と保護者が、21名の隊員と付き添い女児を6組に分けてスキーの実習。11:35 宿舎で昼食。12:20 閉所式でバッジテストの授与を行う。5級2名、4級14名(大人3名、子ども11名)、3級12名(大人7名、子ども5名)、ジュニア2級0名(3人挑戦)。12:50 バスで戸狩を出発。途中「フルーツランド」で30分の買い物。19:30 枚方到着。

この4日間を振り返ってみると

- 皆様のお陰で、全員大きな怪我も病気も無く、元気に帰って来ることが出来ました。
- 天候に恵まれ、野外でのゲーム以外予定していたことを総て実施できました。
- バッジテストは、ジュニア2級が高度な内容で、昨年3級の3名はもう一歩の所で残念ながら全員不合格になりましたが、その他のものは全員5級~3級に合格できました。
- 今年は大人もバッジテストを受け、受験者10名全員、4級と3級に合格しました。
- 昨年に続いての2年目ということで、何事もスムーズに進めることが出来ました。
(今年初参加者は、大人1名、子ども3名)
- 隊員が親から離れ、助け合いながら共同生活が出来ました。
- 宿舎の方は親切であったし、食事もおいしかったです。

団からのお知らせ

【 役務変更のお知らせ 】

4月1日付けで、夏目輝夫団委員を、副団委員長に役務変更の登録を致しました。

これからも副団委員長として、団・各隊の発展に最善を尽くしていただけます。団・隊活動に対してのご質問や、スカウトのご相談など、何でもぶつけてみてください。長い人生経験や、スカウト経験で、きっと解決の糸口が見つかるものと思います。

又、新しい年度の登録業務も終了しましたが、昨年度登録数より3名の減少になりました。団・隊指導者一丸となって登録スカウト増員に努力いたしますが、育成会の皆様にもロコミにてお力添えいただきますようお願い致します。

【 「もつたいない寄付」のお願い 】

ボーイスカウト日本連盟では、「書き損じハガキ回収プロジェクト」を実施しています。

これは、皆様のご家庭にある書き損じハガキなどを提供頂き、日本連盟で換金し、「もつたいない寄付」とするもので、経済的な理由や東日本大震災、福島第一原発事故の被害でボーイスカウトに参加できない子どもたちの活動資金を助成するために活用されます。趣旨ご理解のうえ、是非ご協力をお願いいたします。

【 スカウト技能大会 】

期日：平成24年4月21日(日)

場所：枚方小学校 運動場及び体育館

日程：9:15 スカウト集合

9:30 開会式

9:45 午前の技能大会

12:00 昼食

12:45 午後の技能大会

15:00 解散予定

持ち物

バク弁、水筒、ロープ (カブ・ボーイ)

なわ跳び用なわ (ビーバー)、筆記具

手旗・三角巾 (ボーイ)、その他

団委員及び指導者への連絡

【 団会議 】

日時：4月21日(日) 17:00～

場所：本部

【 団委員会 】

日時：4月27日(土) 18:00～

場所：本部

新 知 故 温

大阪スカウトクラブ発行「スカウティングの原点を探るシリーズ」より転載

<スカウト運動とスピリット>

信 仕 愛 行 遊

古田 誠一郎

一 行 一

Leaning by Doing (行為によって学ぶ) これは今ではスカウト教育に関係する者のだれもが心得ている基本原理である。したがって、ここに思いをいたす時は前項の一遊一はむしろそのための一つの手だてだとさえ考えられないこともない。「自分のカヌーは自分で漕げ」と、B-Pは青年スカウトに教えている。

私どもがまだそこまで眼を開いていなかったころ、最初の指導者実修所を開いた佐野常羽先生が「清規三事」と題して、第一に実践躬行、次に精究教理、最後に道心堅固と順序を明らかに立てて提唱されたのである。ところが当時この順序に対しては種々異論を称える人たちもあった。しかし、その後佐野先生の示されたこの三事の英訳は、それらの人たちに対しても明快な解答となって、真向から1本参っている。

参考のため下記すれば Activity first.

Evaluation follows. Eternal Spirit. であって現今の言葉でいえば、

1. まず行動をもってことに当たり、
 2. 続いて評価学習を怠らなければ、
 3. 確乎たる精神はおのずから定まる。
- となるものと思われる。

ところで、本運動以外に眼を向けて見ても、友好団体である、ワーク・キャンプの創始者ピエール・セレゾーレ (スイス人) は青年たちを励まして、'Not word but action!' (言葉よりも行ないだ) と叫んでいる。

そのセレゾーレとともに、ユーゴスラビアの建国当初、その国のプルゴからバノビーキまでの、鉄道建設にキャンプしながら奉仕した青年たちの間で、だれからともなく「われわれは鉄道を建設する。鉄道はわれわれを建設する」というスローガンが生れた。彼らは対他奉仕にいそしむことが、自己形成への最

も近い道だと悟ったのであろう。

また「神の意志を実行することは、最大の業績である」と自分の人生哲学をたて、進んでアフリカに渡り、原住民の医療に生涯を捧げたシュバイツァー博士が、ランハレネの病院増築の現場で、自分も大工を援けて働きながら側にいたアフリカ人の若い医師に「君この材木を運んでくれませんか」と声をかけると「いや私はできません。私はインテリです」といって勤労を拒絶した。シュバイツァーはニコニコ笑いながら「僕ももとはインテリだった。ところが、僕にはそのインテリではやりきれなくなったのだ」と答えた。われわれスカウターの中には、このようなインテリはいないであろうか。

スカウトスピリットというものは、ちっとすわっていれば、ふわりと向こうから乗り移って来るものではなく、やってやって、やりぬいて、勝ちとるものではあるまいか。

やるか やらないか
決断を迫られたときは
後で後悔してもいいから
やってみた方が よい

君の進む前に 道はない
道は 君が進んだ 後に出来る



【4月各隊活動予定】

◇ ビーバー ◇

	4月7日(日)	4月21日(日)
タイトル	花まつり	スカウト技能大会
時間	10:00~13:30 予定	9:00~15:15 予定
集合	枚方市駅ケーブルテレビ後	枚方市駅ケーブルテレビ後
場所	岡本町公園	枚方小学校

◇ カブ ◇

『テーマ: わ! 緊急指令ボジョレーレスキュー隊出動』 [主な活動: カブラリー]

《目標: 協調性を養う》

	花まつり	組集会	スカウト技能大会	連盟「カブラリー」
1組	4月7日(日) 岡本町公園	4月14日(日) 南部生涯学習センター 詳細は別途	4月21日(日) 枚方小学校 9:00~	4月29日(祝) 第26回大阪連盟 カブラリー なにわの宮公園
2組	詳細は別途	4月14日(日) サンプラザ生涯学習センター 詳細は別途	詳細は別途	詳細は別途

※ リーダー会議 4月6日(土) 13:00~ 本部

◇ ボーイ ◇

テーマ: 「目指せ! 快適キャンプ!」 活動内容: 野営技術

活動目的: 野外料理・設営

集会種別	花まつり	16NJ結隊式	スカウト技能大会	隊キャンプ
日程	4月7日(日)	4月14日(日)	4月21日(日)	4月28日(日)~29日(祝)
時間	10:00~	14:00~	9:15~	9:00~
場所	岡オン町公園	淀川河川敷	枚方小学校	本部
備考		参加者のみ		

◇ ベンチャー ◇

4月7日(日)	4月14日(日)	4月21日(日)	4月10日(水)
花まつり	炊事章講習考査会	スカウト技能大会	ベンチャー集会
9:00 設営開始	9:00~	9:00~	19:30~
岡本町公園	交野2団野営場	枚方小学校	本部

4月20日(土)~12日(日) 地区ベンチャーキャンプ 交野3団野営場